

**令和 8 年度
香川大学当初予算の概要**

1. 予算編成の基本的な考え方

- ・ 第4期中期目標期間（令和9年度）終了時に、中期目標・中期計画の国の最終評価が行われることを踏まえ、その確実な達成に向けた取組を積極的に推進する。
あわせて、急速な少子化に向かう、令和10年度からの第5期中期目標期間を見据えた取組についても着手する。
- ・ 近年の人件費増嵩や物価高騰により本学の財務状況が悪化するなか、国立大学の教育・研究活動を支える運営費交付金において、物価・人件費の上昇を踏まえた基幹経費の支援については、国の令和8年度当初予算での措置がなされなかった。
こうしたなか、財源確保のための外部資金の積極的な獲得などによる収入増加を図るとともに、聖域なき事業の見直しなどによる徹底した支出削減に、引き続き取り組み、収支均衡の維持による持続可能な大学運営の実現を目指して、戦略的かつ効果的な予算編成を行う。

2. 全体

- ・ 全体収支は収入41,962百万円に対し、支出42,361百万円となり、収支差は▲399百万円。
- ・ 学部等は収入13,646百万円に対し、支出13,646百万円となり、収支差は0円。
- ・ 附属病院は収入28,316百万円に対し、支出28,715百万円となり、収支差は▲399百万円。

（単位：百万円，％）

区 分		令和8年度	令和7年度	増 減 額	増 減 率
学 部 等	収 入	13,646	12,880	766	6.0
	支 出	13,646	12,880	766	6.0
	収 支 差	0	0	-	-
附 属 病 院	収 入	28,316	27,002	1,314	4.9
	支 出	28,715	27,257	1,458	5.4
	収 支 差	▲399	▲255	▲144	▲56.7
全 体	収 入	41,962	39,882	2,080	5.2
	支 出	42,361	40,137	2,224	5.5
	収 支 差	▲399	▲255	▲144	▲56.7

3. 学部等

(1) 収入内訳

- ・ 運営費交付金は、ミッション実現加速化経費及び成果を中心とする実績状況に基づく配分等の増加により104百万円の増加。
- ・ 学生納付金収入は、創発科学研究科定員増に伴う学年進行等により21百万円の増加。
- ・ 補助金等収入は、授業料等減免費交付金の対象者拡大（多子世帯）により512百万円の増加。
- ・ 雑収入は、資金運用益増等により24百万円の増加。
- ・ 目的積立金等繰入で、100百万円を計上。

(単位：百万円, %)

区 分	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率	令和8年度収入割合
運営費交付金	8,437	8,333	104	1.3	61.8
学生納付金収入	3,953	3,932	21	0.5	29.0
補助金等収入	766	254	512	201.8	5.6
雑収入	212	188	24	12.7	1.6
外部資金間接経費収入	179	173	6	3.4	1.3
目的積立金等繰入	100	0	100	-	0.7
合 計	13,646	12,880	766	6.0	100

・ 目的積立金の使途

医学部総合教育・研究棟改修事業（医学部再開発）に係る設備整備事業等

(2) 支出内訳

- ・ 人件費は、総額人件費の増嵩抑制を図るものの、人事院勧告を踏まえた給与改定等により、267百万円の増加。
- ・ 物件費は、部局経費の見直し及び一般管理費等の減額を行い計上。
- ・ 学長戦略経費は、選択と集中を徹底し計上。
- ・ 授業料免除収入見合で、授業料免除経費を計上。

(単位：百万円, %)

区 分	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率	令和8年度支出割合
人件費	10,382	10,115	267	2.6	76.1
内 給与費	9,937	9,498	439	4.6	72.8
内 退職手当	445	617	▲172	▲27.9	3.3
物件費	2,421	2,453	▲32	▲1.3	17.7
内 教育経費	575	578	▲3	▲0.7	4.2
内 研究経費	345	349	▲4	▲1.0	2.5
内 教育研究支援経費	370	379	▲9	▲2.4	2.7
内 一般管理費等	586	599	▲13	▲2.2	4.3
内 学長戦略経費	545	548	▲3	▲0.6	4.0
授業料免除経費	838	306	532	173.8	6.2
予備費	5	5	0	0	0
合 計	13,646	12,880	766	6.0	100

4. 附属病院

附属病院の経営は、医療環境の急速な変化に加え、人事院勧告を踏まえた人件費の増嵩、物価高騰により、著しく悪化しており、令和7年度決算は、当初予算を下回る見込みである。

令和8年度は、診療報酬改定や新規入院患者数増による病院収入の確保を図るとともに、人件費抑制、コスト削減等に徹底して取り組む。人件費増高や物価高騰など、見通せない要因はあるものの、令和7年度に策定した経営改善計画を見直し、経営基盤の強化により、早期に病院経営の安定化を図る。

【附属病院収支の推移】

(単位：百万円)

区 分	令和6年度 決算額	令和7年度 予算額	令和7年度 決算見込額	令和8年度 予算額
収 入	25,521	27,002	27,436	28,316
支 出	26,205	27,257	27,825	28,715
収 支 差	▲684	▲255	▲389	▲399

【令和8年度の主な収入・支出改善策】

○収入増加策

- ・診療報酬改定による収入増（276百万円増）
医療材料費、食材費、光熱水費など物件費の高騰を踏まえた対応等
- ・新規入院患者数の増加（延患者数：3,960人増 285百万円増）
オンライン予約システムの活用、救急応需率・応需件数の改善、病院連携の強化、手術件数の増加。
- ・保険診療外収入の増加（40百万円増）
文書料金改定などの諸料金規程の見直し。
- ・「経営環境の改善及び業務の生産性向上に資する補助金」等の積極的な獲得。

○支出削減策

- ・人件費の抑制（時間外勤務縮減目標：前年度比10%削減）
タスクシフト・タスクシェア等による医師の働き方改革の積極的な推進、業務の見直しによる時間外勤務の縮減。
- ・保守管理費等のコスト削減
各種保守費、委託費等について仕様の範囲や調達数量等の徹底的な見直し。

【令和8年度の主な医療機器整備等】

- ・脳神経外科手術用顕微鏡の導入
- ・心臓血管外科人工心肺装置の導入 等

【附属病院予算の収入・支出の内訳】

(単位：百万円, %)

区 分		令和 8 年度	令和 7 年度	増減額	増減率
収 入	附属病院収入	26,538	25,371	1,167	4.6
	（入院）	(17,307)	(16,909)	(398)	(2.4)
	（外来）	(9,030)	(8,462)	(568)	(6.7)
	運営費交付金	1,435	1,435	0	0
	補助金等収入	0	78	▲78	▲100
	雑収入等	118	118	0	0
	内部留保金等	225	0	225	100
	計	28,316	27,002	1,314	4.9
支 出	人件費	10,055	9,624	431	4.5
	物件費	17,301	16,211	1,090	6.7
	（診療経費等）	(17,175)	(16,084)	(1,091)	(6.8)
	（一般管理費等）	(126)	(127)	(▲1)	(▲0.8)
	債務償還経費	1,359	1,422	▲63	▲4.4
	計	28,715	27,257	1,458	5.3
収 支 差		▲399	▲255	▲144	-

5. 学長戦略経費

学長のリーダーシップのもと、第4期中期目標・中期計画の推進及び社会的インパクト創出のために必要な事業について、選択と集中を徹底し、効果的・重点的に事業費を計上する。

【重点施策】

- レジリエント社会の創造およびサステナブルな地方分散型社会への貢献
- 希少糖研究成果の社会実装
- 瀬戸内海再生への取組み
- 医農工連携型デバイス開発
- 産学連携によるDX推進拠点形成事業
- 包括的健康イノベーションの創出
「家族性高コレステロール血症対策」 など

6. 学部等に対する教育研究活動実績状況に基づく運営費の配分

学部等の運営費予算の配分において、各学部等の教育研究活動の成果を予算に反映させるため、活動実績に基づく運営費の配分を行う。

(1) 国の指標に基づく運営費配分

評価指標

- ・ 新規採用者に占める若手研究者比率
- ・ 常勤教員当たり科研費獲得額・獲得件数の伸び率 等

(2) 本学の独自指標に基づく研究費等の追加配分

評価指標

- ・ 学部等の外部資金獲得額の伸び率

7. 主な補助事業

- 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）
- 共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）（地域共創分野）
- 戦略的大学改革・イノベーション創出環境強化事業（希少糖）
- 高度情報専門人材育成（DX推進人材育成）事業

8. 施設整備計画

施設整備計画は別紙のとおり

令和8年度施設整備事業

番号	事業名	事業概要	財源内訳
1	ライフライン再生（給排水設備等） （教育学部附属学校）	附属学校の給排水設備等更新及び空調設備新設	施設整備費補助金
2	基幹・環境整備（空調設備等） （教育学部附属学校）	附属学校の空調設備新設	施設整備費補助金
3	総合教育・研究棟改修（4期・5期） （医学部）	基礎臨床研究棟の老朽改善及び機能強化	施設整備費補助金